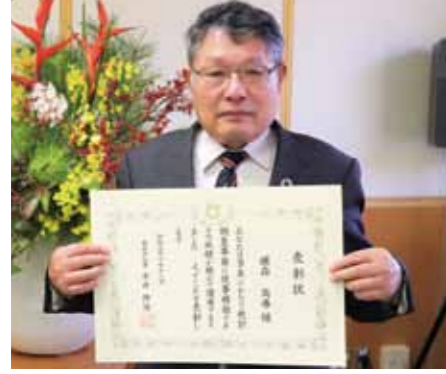


11/17 統計功労者表彰に藤森高善さん

長年にわたり各種統計調査に従事し、統計行政の推進に貢献した統計調査員を表彰する「統計功労者表彰」で、藤森高善さん（霞）が永年従事調査員として鳥取県知事から表彰されました。統計調査員は、国勢調査をはじめ様々な統計調査に従事し、調査への協力依頼や調査票の回収・点検・整理などを行っています。藤森さんは、平成12年から国勢調査、農林業センサス、経済センサス等の統計調査員としてほぼ毎年従事されています。



藤森さんは、平成12年から国勢調査、農林業センサス、経済センサス等の統計調査員としてほぼ毎年従事されています。

12/1 林業アカデミーへSDGs活動支援品

米子信用金庫から林業アカデミーへ、SDGs活動支援品として環境にやさしいチェーンソーオイルが寄贈されました。これは、「よなごしんぎん私募債」（SDGs達成に取り組むための寄付型私募債）の発行企業であるピーイング（有）（米子市）の意向によるもので、寄贈されたオイルは、林業アカデミーの実習などで使用されます。生徒代表の佐藤伸行さんは「皆様の期待に沿えるよう、森林や木材産業等の持続的発展のために、技術の習得に努めたい」と話されました。



宝くじの助成金で整備しました

一般財団法人自治総合センターが宝くじ収入による社会貢献広報事業として行っている、地域防災組織育成助成事業（コミュニティ助成事業）を活用し、石見地域の各自治会に発電機、救護用担架などの防災用資機材を配備しました。これらの資機材は、今後の訓練や有事の際に活用されます。

11/12 石見保育園で木の楽器作り

石見保育園の園児たちが町内の木材を使ってオリジナルの木製楽器作りに挑戦しました。林業アカデミーの講師から指導を受け、年長さんはカスタネット、それ以外の園児は木同士を叩いて音を鳴らす「ウッドブロック」という楽器を作製しました。園児たちは使い慣れないノコギリに悪戦苦闘しながらも、日南町ならではの工作を楽しみました。



11/17 日南中で郷土料理伝承授業

日南中2年生が日南町食育推進協議会による郷土料理の伝承に関する授業を受けました。食育推進協議会は、日南町の食文化を伝え継ぐために「にちなんの邑の味」という郷土料理冊子を作成し、その冊子を活用した伝承活動を実施しています。今回の授業では、和食に関することや郷土料理の特徴、現在の食文化について説明されました。食育推進協議会の七瀬寿恵会長は「時代が変わっても郷土料理を作ってほしい」と話され、生徒たちは熱心に話を聞いていました。



11/4 日南町仏教会へ感謝状

町有共同墓地埋葬者の供養と墓地整備に多大な貢献のあった日南町仏教会（門原信典会長）に町から感謝状を贈呈しました。仏教会は、長年にわたり奉仕活動として埋葬者の供養を続けてこられ、町が今年度行った墓地整備にあたっては、助言や供養塔の寄贈、開眼法要などをしていただきました。感謝状を手渡された鎌倉真栄名誉会長は、「今後もできる限り供養を継続していきたい」と話されました。



各地域で文化祭

例年開催されている各地域での文化祭が、今年は多里・福栄・阿毘縁の3地域で行われました。地域住民の作品展やニュースポーツ体験、野菜やほたもちなどの販売が行われ、各地域の個性が現れた文化祭は、コロナ禍に負けない盛り上がりを見せていました。



日野上のイチョウ見物客で賑わう

旧日野上小学校の樹齢約100年の大イチョウが色づき、11月中旬頃に見頃を迎えました。土日を中心に役場から無料のシャトルバスが運行され、県内外から多くの見物客で賑わいました。木の周囲は落ち葉で黄金色のじゅうたんを敷き詰められたようになり、カメラやスマートフォンを構えた人たちが思い思いに美しい景色を楽しんでいました。今年は好天に恵まれ、1万人を超える過去最多の見物客が訪れました。

